

おしゃべり楽しむ「赤ちゃんサロン」

【こどもの城】で“いどばた会議”

3か月から1歳6か月の“赤ちゃん”と保護者の集いの場

3か月から1歳6か月の“赤ちゃん”と保護者が集まって、赤ちゃんを遊ばせながら“おしゃべり”を楽しむ場所——それが【こどもの城】の「赤ちゃんサロン」。月1・2回、火曜日の午後（12時30分～14時/音楽ロビー）に開かれています。これからお母さんになる妊婦中の人も参加して、“赤ちゃん”を身近に感じることもできます。

「赤ちゃんサロン」では、小児保健部のスタッフ（小児科医師、保健師、管理栄養士、臨床心理士）もお母さんたちの輪に入って“おしゃべり”。みんなの声を聞きながら、アドバイスをします。



ほかのお母さんの子育てを“見る・知る”機会に

「赤ちゃんサロン」は、水泳講座「マタニティ・スイミング」の終了者——赤ちゃんが生まれてお母さんになった人たちの“同窓会”参加者からの「きがるに、お母さんたちが集まれる場所があればいいのね」という声がかきつけとなって、平成23年（91年）にスタートしました。

お母さん同士が集まって雑談しながら、子育てにまつわる情報を交換したり、目の前で遊んでいるほかの赤ちゃんの姿を見ることで安心して、子育てに自信をとりもどしたり——同じくらしい赤ちゃんを持つお母さん同士がふれあうことで、子育ての不安をなくすのに少しでも役にたてばという願いがこめられた活動です。

お母さんたちの会談：3～5か月児のコーナー

「この子の顔のほのかのプツプツは、アトピー？しっしん？とスタッフに質問するお母さん。「そうね、これはあせもかな」と答えながら、まわりのお母さんに「おたくのお子さんはどう？」「うちの子は顔にプツプツが——これもあせもなの？」、「プツプツ」がきっかけとなって、お母さん同士の話が広がっていききました。

話が終わると「さうね、赤ちゃんてあせもやしっしんがでやすいのよね。まだ、ひんが強いから——」とスタッフ、お母さんたちは、それぞれに赤ちゃんを見くらべて、安心したようでした。

お母さんたちの会談：1歳～1歳6か月児のコーナー

「よその子をかんたんに、つきとばしたりするので、お友だちのなかに入られられない」とこまり顔のお母さん。「エネルギーが発散しきれないのかもしれない。外遊びをいっぱいして、自由にさせてあげられるといいと思うんだけど」とアドバイス。この年齢の子どもを持つお母さんには「しつけ」への関心が高く、会談のなかには入ってこなくても、まわりでしっかり聞いていました。

同じくらしい赤ちゃんを持ったお母さん同士がつきあう機会が少なくなって、子育てについての情報は本や雑誌などにたよりがちです。赤ちゃん連れで集まれる場所があれば、ほかのお母さんの子育てを“見る・知る”ことができます。これは、本などからは手に入れることができない、貴重な情報です。「多くの親子の姿にふれて見聞きすることは、育児書以上に生きた教材になっていると思います。お母さん同士のおしゃべりが、おもしろいほかに楽しいと感じて、気分転換になるようです。「安心」「リラックス」などが、心のゆとりにつながるのではないのでしょうか」とスタッフ。



専門スタッフが加わり、いっしょに“おしゃべり”

「赤ちゃんサロン」は、3か月から1歳6か月の赤ちゃんと保護者を主な対象にしています。

受付で名札（顔やおむつにはれるシール）をわたし、親子それぞれ見やすいところにつけてもらいます。ほとんどの人が「赤ちゃんサロン」の会場で初めて顔をあわせるので、たがいに声をかけやすくするために名札をつけてもらいます。

会場は、月別別に3～5か月児、6～8か月児、9～11か月児、1歳～1歳6か月児の4つのグループに分かれて輪になってキルティングマットの上ですわります。このとき、体調の悪い赤ちゃんをのぞいて、おむつ一つのはだかんぼう”になってもらいます。腹をぬくと身もちかくなるのが、赤ちゃんたちの動きも元気に、活発になるようです。

「赤ちゃんがおむつ1枚だけのはだかである景色は圧倒されます」と、ネット上に感想を書き込んでいるお母さんもいます。ある程度人数になったら、スタッフが「赤ちゃんサロンの」目的やプログラムの進め方を説明します。小児科の医師が保健衛生面の話をしてから、赤ちゃんのはだかである「なでなでタイム」、参加者の一人にモデルになってもらいます。すると、ほかのお母さんたちも自然とほほえみ、「なでなで」を始めます。

はだかであることの効果（ひんがきたえられ、自律神経の機能が高くなり、かぜをひきにくくなる、など）を小児科医師が説明しながら、「なでなでタイム」は進行します。

そのあとは、スタッフが4つのグループの輪に入り、おしゃべりに加わります。ときには、専門家の立場からアドバイス。出入りは自由なので、きがるに参加してお母さん同士のおしゃべりを楽しんでいる姿もみられます。

自分だけのなやみが“ありふれたこと”だと気づく

「ママと二人で遊ぶのもいいけど、たまには同じくらいの子とふれあうのもいいな」「こんなにたくさん赤ちゃんに会えるなんて——」——と参加したお母さん。ふだんは自分の子どもだけですが、「赤ちゃんサロン」ではたくさん赤ちゃんとお母さんに出会います。「はだかんぼう」で、いろいろな個性を持った赤ちゃんたち。お母さんにとっても、めったにない体験。ほかの赤ちゃんを見るお母さんたちの目はかがやいています。

「自分の子だけのなやみと思っていたことが、ほかの赤ちゃんたちにもある“ありふれたこと”だと気づくと、多くのお母さんは安心します。たくさん赤ちゃんと出会うことができる「赤ちゃんサロン」は、そんな“気づき”の材料がいっぱい。おしゃべりを楽しみながら、子育てを楽しんでほしい」とスタッフは思っています。

赤ちゃんサロン（開催日程）

「赤ちゃんサロン」は、夏休み特別開催などをのぞく火曜日（12時30分～14時/毎月1・2回）、音楽ロビーで開催されています。

対象は、3か月～1歳6か月の子どもと保護者。これからお母さんになる妊婦中の人も【こどもの城】の入館券（500円）が必要です。

9月以降の開催は、下記のとおり、9月11日/10月16日/23日/11月13日/27日/12月11日/18日/waco #1a22a/22a/28a/31日

お問い合わせは、小児保健部【03-3797-5667】。

